令和8年度 富山市スポーツ推進審議会 議事要旨

1,日時　　令和８年１０月６日（火）１５：００～１６：００
2,会場　　富山市役所東館８階　８０１会議室
3,出席委員　池田委員、奥田委員、奥村委員、小野寺委員、柴田委員、新保委員、杉谷委員、西村委員、長谷委員
4,議題　　令和８年度主要事業の取組状況等について
5,議事要旨
（事務局）
〇開会後、市民生活部長挨拶
〇奥村会長挨拶
〇事務局より、以降の議事進行を奥村委員長(議長)に一任

～議題：令和８年度主要事業の取組状況等について～
説明者：松本スポーツ健康課長
・第２次富山市スポーツプランの６つの基本施策に基づいて、令和８年度の主要な事業の実施実績、実施予定について説明。

〇議事に対する質疑応答
（長谷委員）
・学校における体育運動部活動について、立山登山や冬のスキー教室などPTA主催で行うようなイベントを補助するような施策はないのか。

（松本スポーツ健康課長）
・スポーツ健康課で現時点で実施している事業は、親子トレッキングのみであり、他の拡充は考えていない。

（大窪教育委員会事務局次長）
・教育委員会としては、立山登山に関しては参加する生徒・児童一人あたり１３００円の補助を実施している。学校においても昨今の行事の見直し・精選等を図られているが、子どもたちが身体を使い、感動する体験等も教育上大変重要ということから、定例校園長会等を通して、体験活動の見直しをしていただくようお声がけしている。

（長谷委員）
・近年は、十分な付添人数を確保できず、怪我などの対応ができないため、実施しない学校も増えていると聞いている。実際に立山登山等のイベントを実施している学校はどの程度あるのか。

（大窪教育委員会事務局次長）
・実際に立山登山として扱っているものは２通りあり、登山として山頂を目指す学校と、室堂周辺を散策するという形で実施している学校とがある。立山登山のイベントを実施している学校は、1割程度と聞き及んでいる。

（小野寺委員）
・新たに改修したＹＫＫ　ＡＰ　ＡＲＥＮＡについて、フィットネスジムやランニングを始め、個人でも使用できる設備もある一方で、弓道などについては、個人ではなく団体で使うことを想定した設備となっているように見受けられる。個人利用と団体利用などそれぞれ利用形態が異なるものについてどのように扱っていくかなど、行政としても、利用者が利用しやすく、利用者が増えるように、サポ―トやアドバイスを続けて行っていただきたい。

（松本スポーツ健康課長）
・委員の指摘の通り、団体だけでなく一般利用の方も従来通りに利用できるように、「する」スポーツと「みる」スポーツの両立を目指していくという前提となっている。施設の運営権は、運営事業者にあるが、施設の所有権は富山市にあるため、運営についても管理監督する責任はあり、モニタリングしていくということになっている。弓道場等については、専門性が高いため、ある程度利用される方が限定されるとは思われるが、料金設定上は個人利用も出来る形になっている。ただし、設備の性質上、安全に利用いただくために指導者が必要となる等、一定の条件は設けているという状況である。このあたりも状況を見ながら事業者と意見交換しながら、改善できるところは改善するよう努めていきたい。

（新保委員）
・部活動の地域展開等について、休日だけでなく平日における展開も視野に入ってきている中で、課題の一つとして、スポーツ指導者の育成という観点もある。富山市の実施する指導員資質向上事業における「指導員」とは、誰の事を指すものなのか。また、具体的にどのような事業となるのか。

（松本スポーツ健康課長）
・富山市が補助している市スポーツ協会の事業であるが、同協会のスポーツ指導員資格を持つ正規職員を東京都の同専門機関での研修に派遣するものと、スポーツ指導員ではなく、一般の方々を募集して外部から講師を呼び、研修を行うという２つの事業を行っている。

（杉谷委員）
・内容としては、主にウオーキングに関することや、子どもの運動に携わる指導者への研修を行っている。

（小野寺委員）
・障害者スポーツへの支援について、新たに実施した事業の状況を教えてほしい。

（松本スポーツ健康課長）
・令和６年度に新規設立団体や新規に障害者スポーツ部門を設けた団体への支援を始めている。現在申請があったのはサウンドテーブルテニスの１団体のみである。

（池田委員）
・総合型スポーツクラブの会員数について、改修前の富山市総合体育館では、空き時間の有効活用として、積極的に利用されていたが、改修後のＹＫＫ　ＡＰ　ＡＲＥＮＡについては、どのように考えているか。

（松本スポーツ健康課長）
・ＹＫＫ　ＡＰ　ＡＲＥＮＡを管理運営する事業者の方で、新たな事業やスポーツクラブの募集を開始している。市スポーツ協会についても、スポーツセミナーという形で、２３個のセミナーを実施しており、出来るだけアリーナについても日中の空きが出ないように努めている。

（西村委員）
・ドリームアスリート事業について、まだまだ認知度が低く、事業について知っている校長が依頼するという状況にあるので、もったいなく思う。スポーツ指導員の派遣やアスリートの派遣は、児童・生徒のみならず、現場の先生たちにとっても非常にいい刺激となっているので、是非継続していただきたい。

（柴田委員）
・女性ヘルシーセミナーについて、非常に良い事業だと思う。加えて、産後のお母さんたちへのセミナーなど、産後の鬱などへのケアを含めたセミナーもぜひ開いていただきたい。

・学校における部活動について、通信制や定時制も含めて学校に敢えて行かないという選択肢も増えている。家での運動に関する事業もあればいいと思う。

・改修したＹＫＫ ＡＰ ＡＲＥＮＡの認知度について、まだまだ旧の市総合体育館がＹＫＫ ＡＰ ＡＲＥＮＡになったという認知が広まっていない。

（松本スポーツ健康課長）
・セミナーについては内容を検討したい。
・学校に行かない子どもたちへの事業については、スポーツは気軽に人が集まるきっかけとなると思うので、参加のハードルが低いスポーツイベント等も視野に入れて検討していきたい。
・ＹＫＫ　ＡＰ　ＡＲＥＮＡの認知度について、実情としては、委員の指摘の通り認知度がまだまだ足りないため、機会があるごとにいろんな媒体を使って、周知に努めていきたい。

（小野寺委員）
・スポーツ協会の実施している世代別の２３のセミナーについては、単発の開催なのか。

（杉谷委員）
・各セミナーごとに６～８回開催している。大体３ヵ月程度の期間をかけて開催している。

〇改修したＹＫＫ ＡＰ ＡＲＥＮＡについて、利用時間や主な改修箇所、スポーツプログラムや今後の主な興行について、松本スポーツ健康課長より説明。

〇１１月に開催される「オールスターレガシー展」や「ドリーム・ベースボール」など今後のオールスターレガシー事業について、松本スポーツ健康課長より説明。

〇閉会